

揖斐川町消防出初式

～防火防災の意識を高め、安全安心なまちづくりを～

1月12日(日)、平成26年揖斐川町消防出初式が揖斐川健康広場で開催されました。

分列行進等が行われたあと、健康広場アリーナで開催された式典では、功労者表彰などが行われました。なお、表彰された方は次の皆さんです。  
(順不同、敬称略)



▲階段操法

◆岐阜県知事表彰

◇永年勤続功労章

- 分団長 高野 博彰 (小島)
- 副分団長 高橋 一樹 (久瀬)
- 部長 谷口 昭治 (坂内東部)
- 団員 増元 庄二 (久瀬)

◇勤続功労章

- 分団長 河瀬 幸弘 (北方)

◇功労章

- 副分団長 松葉 篤規 (名札)
- 副分団長 仲井 慎也 (横蔵)
- 副分団長 所 信宏 (六合)
- 副分団長 小寺 勝利 (久瀬)
- 副分団長 東野 克也 (坂内西部)
- 部長 白川 智明 (美束)
- 班長 立川 賢二 (六合)
- 班長 日下部芳文 (久瀬)
- 班長 若園 直樹 (本部)
- 班長 新川 正康 (美束)
- 班長 伊藤 敬二 (美束)
- 班長 高橋 浩一 (久瀬)
- 班長 杉山 大輔 (久瀬)
- 班長 川本 励 (藤橋)
- 班長 藤原 弘 (本部)
- 班長 竹中 正和 (本部)
- 班長 高橋 利彦 (本部)
- 班長 堀 篤 (本部)
- 班長 神谷 基樹 (本部)

◆岐阜県消防協会会長表彰

◇特別感謝状【団幹部永年勤続】

- 団長 橋本 利弘 (本部)

◇特別感謝状【永年勤続40年】

- 副団長 小寺 正則 (本部)

◇特別感謝状【永年勤続35年】

- 副団長 大葉 光義 (本部)

◇勤労章【20年】

- 分団長 高野 博彰 (小島)
- 副分団長 高橋 一樹 (久瀬)
- 副分団長 小寺 勝利 (久瀬)
- 班長 前川 一明 (坂内東部)
- 班長 立川 賢二 (六合)
- 班長 若園 直樹 (本部)
- 班長 小椋 貴寿 (坂上)
- 班長 杉山 大輔 (久瀬)
- 班長 竹中 徹 (久瀬)
- 班長 高橋 正二 (坂内東部)
- 班長 小寺 良英 (本部)
- 班長 高橋 宗徳 (本部)

◇勤労章【15年】

- 分団長 河瀬 幸弘 (北方)
- 分団長 神原たくみ (横蔵)
- 副分団長 所 信宏 (六合)
- 副分団長 清水 隆広 (藤橋)
- 副分団長 河合 賢作 (名札)
- 班長 所 敬一 (六合)
- 班長 新川 育弘 (美束)
- 班長 杉山 茂 (久瀬)
- 班長 高橋 哲也 (小津)
- 班長 安藤 陸成 (小津)
- 班長 松久 秀紀 (本部)
- 班長 山本 大貴 (本部)
- 班長 山本 幸浩 (坂上)
- 班長 藤原 利男 (美束)

◇功績章

◆揖斐郡消防協会会長表彰

◇功労章

◆町長表彰

◇町長特別功労章

- 分団長 河瀬 幸弘 (北方)
- 分団長 神原たくみ (横蔵)
- 部長 河合 賢作 (名札)
- 班長 杉山 茂 (久瀬)
- 班長 高橋 哲也 (小津)
- 班長 松久 秀紀 (本部)
- 班長 山本 大貴 (本部)
- 班長 山本 幸浩 (坂上)
- 班長 小寺 真也 (中央)
- 班長 中川 幸治 (本部)

◇功労章(消防団) 41名

◇功労章(女性防火クラブ) 6名

◇町長感謝状 北和中学校 少年消防クラブ

◆消防団長表彰 41名

◆岐阜県女性防火クラブ 運営協議会表彰

◇表彰旗

◇揖斐川町女性防火クラブ

◇優良章 19名

◇揖斐川町女性防火クラブ 会長表彰 5名

※消防団員優秀家族賞、岐阜県消防協会会長表彰(功績章) 揖斐郡消防協会会長表彰、町長表彰(功労章)、消防団長表彰、岐阜県女性防火クラブ運営協議会表彰(優良章)、揖斐川町女性防火クラブ会長表彰は、紙面の都合上、受章者の紹介は省略させていただきます。ご了承ください。



▲講座に参加した揖斐高校の生徒

揖斐高等学校で  
認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かい目で見守る「応援者(サポーター)」の養成講座が、12月2日(月)、揖斐高等学校で開催されました。

春日診療所の太田医師が講師を務め、認知症の症状や接し方のポイントなどを生活環境科福祉コースの生徒24名が学びました。

認知症の方との接し方の練習では、孫役の内田先生とおばあさん役の栗野民生児童委員による寸劇があり、それを参考に、孫の対応を2人1組で考え、ロールプレーをしました。生徒からは、「祖父母がなった時に、今日の授業を活かしたい」、「身近に認知症の人がいたら対応できるようにしたい。」などの感想がありました。



▲フィナーレの炭坑節

「ことぶきまつり」

～芸能発表で交流～

12月4日(水)、中央公民館で「ことぶきまつり」が開かれ、町内の高齢者などおよそ180人が参加しました。

この催しは、町内の60歳以上の人を対象にした社会教育学級「ことぶき大学」の受講者の学習成果発表の場で、高齢者の生きがいづくりやそれぞれの地域をつなぐ交流の場としての役割も担っています。

芸能ステージでは、20組の出演者が、昔懐かしい演歌や煌びやかな舞踊などを披露しました。

出演者には、80歳を超える高齢者もおり、年齢を感じさせないしなやかな体のはこびで観客を魅了しました。その他にも三味線の演奏などもあり発表を終えた出演者らに客席から大きな拍手が送られました。

北方消防車庫が完成

～地域の守りを確立～

昨年春から建設が進められていた揖斐川町消防団北方分団車庫(北方神社前)が完成し、12月6日(金)に竣工式が行われました。

式典には、宗宮町長など30人が出席し、テープカットで完成を祝いました。

車庫は鉄骨2階建てで2階に詰所があり、駐車スペースも新たに26台を確保。手狭で老朽化が進んだ旧車庫から大きく機能が向上しており、今後の活躍が期待されます。

式典で宗宮町長は「北方地区の防災拠点として活用し、地域と一体で防災に努めたい」、橋本消防団長は「新しい施設を拠点として引き続き地域の安全・安心に努めたい」とあいさつしました。



▲新しくなった北方消防車庫

叙勲祝賀会開催

12月6日(金)、揖斐川町中央公民館で平成25年4月に叙勲を受章された高橋宏之さん(上南方)の祝賀会が開かれました。高橋さんは、県立学校教諭として奉職されて以来、39年にわたり教育行政や学校教育などの振興発展に貢献され、その功労により瑞宝小綬章を受章されました。

また、高橋さんは現在も揖斐川歴史民俗資料館の館長、町教育委員会教育委員長として教育の発展と向上に尽くされています。

発起人を代表して宗宮町長は「高橋さんの献身的なご尽力に対して深く敬意を表しますとともに、ご活躍を支えてこられましたご家族ならびに関係者のご尽力に対し、心から感謝申し上げます。」とあいさつし、その功績を称えました。



▲受章された高橋宏之さん

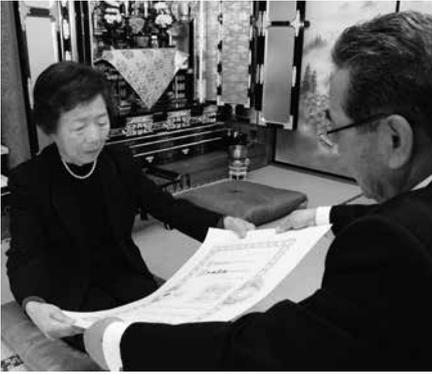
叙勲(瑞宝双光章)受章

平成25年10月7日(月)に亡くなられた小川治さん(白樺)が瑞宝双光章を受章され、宗宮町長よりご家族へ伝達が行われました。

小川さんは、昭和23年3月から昭和63年3月まで、小学校や中学校の教員として勤められ、北和中学校では、創立間もない学校を新進気鋭の青年教師として支え、教育活動に貢献されました。

また、春日中学校や池田中学校に転任された後に、昭和52年からは、校長として、生徒の能力を伸ばす指導工夫を実践され、多くの教員の模範となりました。

これら生前の功績が認められ、今回の叙勲の受章となりました。この多大な功績に対し、敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りします。



▲叙勲の伝達が行われました

叙位(正六位)受章

平成25年10月16日(水)に亡くなられた杉田藤一さん(市場)が正六位を受章され、宗宮町長よりご家族へ伝達が行われました。

杉田さんは、昭和13年3月から昭和54年3月まで、教員として勤められ、その間、戦時下の教育推進のため体鍛科の研究・生産活動教育の実践に努められました。戦後は、社会科学教育の研究に大きな功績を残されました。

また、揖斐郡内の小中学校の校長も歴任されました。

これら生前の功績が認められ、今回の叙位の受章となりました。この多大な功績に対し、敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りします。



▲叙位の伝達が行われました

藤橋で地域の世話役養成

～地域住民との橋渡し～

12月6日(金)、移住希望者の相談やアドバイザーを務める「地域の世話役」の養成塾が藤橋地域のワンダ農園で開かれ、県内の世話役など22人が参加しました。

田舎暮らしや移住定住を進める揖斐川町では、地域の世話役を設けて、移住体験や農業体験を定期的に開催し、移住希望者のニーズに 대응しています。

県内の世話役の養成塾となったこの日は、これから地域の世話役として活動される方の模範となる「地域の移住定住コンシェルジュ」の3人が自身の体験を基に世話役に必要なことなどを参加者に伝えました。藤橋地域在住で移住定住コンシェルジュの橋本勝範さんは、ワンダ農園での田舎暮らし体験の実例や地域での日頃の活動をスライドで紹介しました。



▲コンシェルジュによる取り組み紹介

交通安全と防犯を呼び掛ける  
啓発車両の出発式

交通安全と防犯を呼びかける啓発車両の出発式が12月11日(水)に揖斐警察署で行われました。

出発式には、郡内の交通安全啓発団体や防災ボランティアなどおよそ150人が参加しました。

パトカーを先導に、青色パトロール車、トラックなど15台が出発し、啓発を行いました。

併せて揖斐警察署前では、交通安全協会や建設業協会などの会員が啓発グッズなどをドライバーに渡して交通事故の防止を呼び掛けました。

また、12月19日(木)には揖斐高校のMSリーダーズのメンバーらがいびプラザまで交通安全の街頭啓発を行いました。



▲啓発車両出発の様子